

# 令和 7 年度 第 1 回 市川市公共交通協議会 協議録

【会議名】 令和 7 年度 第 1 回 市川市公共交通協議会

【開催日時】 令和 7 年 5 月 28 日 (水) 午後 2 時から

【開催場所】 市川市役所 第 2 庁舎 4 階大会議室 1

【出席委員】 藤井委員、三浦委員、中嶋氏（福本委員代理）、三輪委員、武藤委員、成田委員、木嶋委員、奥山委員、稻垣委員、菅井委員、島倉委員、大田委員、湯浅委員、大塚委員、渡邊委員、米崎委員、菅谷委員、山元委員  
※欠席 金野委員

【委員以外の者】

【傍聴者（随行者）】

【事務局】 交通計画課 高石課長、鈴木主幹、塩原主査、橋元主査、北田主任

【次第】 1. 令和 6 年度（1）事業報告及び（2）歳入歳出決算について

2. 令和 7 年度（1）事業計画及び（2）歳入歳出予算について

3. 規約別表の改正について

4. コミュニティバス北東部ルート検証実験について

5. コミュニティバス南部ルート検証実験について

6. バス運転士・タクシー乗務員の不足に対する取組について

7. 市川市へのデマンド交通の導入について

8. その他

【決定事項】

議題 1, 2, 3, 7 について、原案どおり承認された。

【報告事項】

議題 4, 5, 6 について、各委員の理解を得た。

発言者	発言
事務局長	<p>皆様こんにちは。定刻前とはなりますが、委員の皆様おそろいのようですので、只今より令和7年度第1回市川市公共交通協議会を始めさせていただきます。</p> <p>『事務局長挨拶』</p> <p>本協議会規則第9条第4項に基づき、公開となります。</p> <p>会議内容につきましては、録音及び写真撮影を取らせていただき、議事録及び協議資料につきましては、Webサイトへ公開いたしますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>『配布資料の確認』</p> <p>協議会規約第9条第1項に基づき、会長に議事進行役の議長をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>本日19名の委員の皆様のうち、1名欠席、1名代理ということで18名の皆様方にご参加いただきました。会議成立として進めさせていただきたいと思います。</p> <p>次第1の【令和6年度事業報告及び歳入歳出決算】と次第2の【令和7年度事業計画及び歳入歳出予算】につきまして、事務局よりご説明いただきたいと思います。</p>
事務局	『次第1、2について説明』
議長（会長）	監査報告を受けられているということで、令和6年度の歳入歳出決算につきまして、ご説明をいただければと思います。
委員	<p>『監査報告』</p> <p>本協議会の監査を仰せつかっておりますが、監査を代表いたしまして、監査結果を報告いたします。令和6年度の歳入歳出決算について、諸帳簿、預金通帳等の書類を監査しましたところ、正確に管理、記帳されておりました。その結果は適正でありましたので報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>ただいまの議題につきまして事務局、監査から報告がございました。</p> <p>ご質問ご意見がございましたら承りたいと思いますが、いかがでございましょうか。</p>
委員	【2.歳出】の比較増減額の合計は29万7,328円となっていますが、下の部分の令和7年度への繰越金額は29万7,428円と100円異なると思われるのですがいかがでしょうか。

事務局	【2. 歳出】では29万7,328円と記載されておりますが、【1. 歳入】で預金利息として100円が収入としてございましたので、そちらを含めた金額としまして差引残額が29万7,428円となり全額繰越とさせていただいております。
議長（会長）	その他いかがでございますでしょうか。
委員	市川市でも都市計画マスターplanなど様々な計画があり、市川市の交通をどうするのかという部分は市川市の中期計画にも記述があると思います。国の公共交通をめぐる動きでは地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が2年前に改正され、計画を策定した上で関係者の合意形成を図っていく取り組みというのも国の方でも求めています。すぐに策定しろということではないのですが、今後の市川市の公共交通をどのようにしていくお考えなのか伺えればと思います。よろしくお願いします。
事務局	地域公共交通計画は各自治体で努力義務で定めるものとされております。本市としても計画策定が必要であるという認識はございます。計画策定には予算化して、コンサルに委託していくなど事前に準備していかなくてはいけない事も多々あるかと思いますので、今後考えていきたいと思っているところでございます。以上です。
委員	今後、この地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく計画の策定を考えていらっしゃるというようなご回答ですので、この協議会に運輸局の委員も入っておられますし、計画を策定するために専門の調査業者へ依頼すると金額も高額ですので、早め早めに国等にもご相談いただいて、補助金という形で公的な支援をいただき、十分活用して良い契約確保を策定していただくことが非常に重要だと思います。その際にはバス協会としても協力させていただきます。
議長（会長）	ありがとうございます。その他、ございますでしょうか。
委員	関連して補助金に関しては計画策定から補助金もございます。実証運行、デマンドなど、今後いろいろ考えていかれると思うので、計画策定する際にぜひご検討いただければと思います。
議長（会長）	国からもいろんな活用の仕方があるということですので、市川市としてどう考えるかが大事になってきます。ただ北東部と南部で全然毛色が違うといったところもございます。ですので、事務局の中でどのようなタイミングで補助金を活用して、かつ、自治体として計画を作り込んでいくかという方向性を検討していただきたいなと思います。 その他いかがでしょうか。他のご意見ございませんので、今年度の取り組みとしては、まずご承認いただいたという形でよろしいでしょうか。

委員	異議なし。
議長（会長）	<p>ありがとうございます。それでは、承認という形で進めさせていただきます。ただし、プラスアルファをぜひご検討いただくということで進めていただければと思います。</p> <p>それでは続きまして、議題の3でございます。</p> <p>規約別表の改正につきまして事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	『次第3について説明』
議長（会長）	<p>これは、私のことでございます。3月に大学の仕組みとして、教授を退職すると特任教授という形で2年の更新型となり、そのため非常勤講師という形の肩書きで教鞭をとらさせていただくことを継続するという形であります。</p> <p>その関係で大学教授といったところに該当しないので、大学教員という形で承認していただけないか諮るものになります。</p> <p>特に問題がなければ、この形でご承認いただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
議長（会長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは続きまして、議題の4でございます。次第の4、コミュニティバス北東部ルート検証実験につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	『次第4について説明』
議長（会長）	<p>北東部ルートの検証実験にあたっては、市川市の場合には、採算率が40%という1つの目標値があります。そのような中で、採算率は20%を超えている状況だが、運賃、人件費、或いは原油代などが高騰している。実質的な利用者数は増えている状況である中で、継続的な運営を今後も進めていきたい。一部利用客数の少ない時間帯もあるので、実行委員会等でそのダイヤの改正に向けた検討を進めていきたいという趣旨の説明でございます。ただいまの説明に関しまして、何かご質問ご意見等ございましたら承りたいと思います。</p>
委員	<p>事務局から説明があった通りでございまして、朝晩中心に非常にお客様のご利用が少ない便がありますので、効率化を図りたいと思っております。</p> <p>運転士の拘束時間休憩時間を定めた法令が厳しくなっている中で、何とか現場では、運用で守り切れているという状況でございます。しかしながら今後も、運転士不足が考えられるという中にあっては、少しでも効率化をすることで、法令遵守の強化、或いは市川市からの財政負担のあり方を含めて、見直しをさせていただきたいとい</p>

	<p>うふうに思っております。</p> <p>そのような観点では、今後、市川市が公共交通計画の検討も考えていくというような回答をいただいておりますけれども、やはり現段階では、公共交通協議会がどうしてもコミュニティバスに特化しており、シチュエーション・クローズアップされてしまうというところがあります。議題4の資料でも、大町方面から市川大野駅まで行けなくなつたと言う意見がありますが、地元の方が知らないことないと思うですけども、一般バス路線で大町駅から市川大野駅、昭和学園経由して本八幡駅にいく便が1時間に3本ぐらいございます。今後検討する公共交通計画においても、一般バス路線があり、別のスキームでタクシーがある。その他、コミュニティバスや鉄道も当然あるというところでありますけれども、その全体的な市川市の公共交通計画があつてその中でコミュニティバスがどうあるべきかという議論ができるように設置していきたいと思っております。ぜひ皆さんもそういうところを念頭に置いていただいてご議論いただければ大変幸いに存じます。</p>
議長（会長）	どうもありがとうございました。その他いかがでございますか。
委員	要望になりますが、利用者目線のダイヤもありますが、従業員目線のダイヤという従業員の働きやすい、運行しやすいダイヤも考えてもらいたいと思います。お願いします。
議長（会長）	ありがとうございます。その他いかがでございましょう。
委員	<p>（質問1）北東部の乗り継ぎ券の利用数が1, 543枚で比較的多いというような説明がありましたが、何か他の乗り継ぎ券と比較をされたのでしょうか。</p> <p>（質問2）一般路線バスで運賃改定が昨年度行われておりますが、運賃改定が行われたときにコミュニティバスに影響があったのかどうか伺いたいです。</p>
事務局	<p>（回答1）乗り継ぎ券の利用数については令和5年度と比較して増えているということでございます。利用が増えてきておりますので乗り継ぎに慣れてきたのではないかということです。説明が不足しております申し訳ございません。</p> <p>（回答2）バス路線で運賃改定が行われたことで、コミュニティバスに影響があったかどうかにつきましては、把握できておりません。</p>
委員	決して調べろということではありませんが、一般路線で運賃改定により運賃が上がったりしますと、お客様がバスに乗りたい場合に何らかの影響が出て参ります。バス路線で運賃改定により運賃が上がったことでコミュニティバスの利用者が増えるのではないかと思いましたが、運送にかかるコストが上がっており、採算率は下がっているというご説明でしたので、コミュニティバスの適切な運賃がどのぐらいか、

	<p>やっぱり上げるべきなのか、市民のためのということで現状の運賃で続けるのかなども考えていく必要があると思います。公共交通計画で、北東部ルートはどのように維持していくという考えがあれば事務局でも対応していけると思いますが、現状は個別にやっていますのでコミュニティバスの影響については把握された方が良いと思います。</p> <p>議長（会長） 民業圧迫になってるかどうかこれ非常に大きな問題です。行政側が自主的に展開するコミュニティバス等によって、民業が成り立たなくなる。これがやっぱり一番大きな問題になりますので、民業でカバーできない部分の人たちをどう移動させるか、きちんと成り立っている地域か、このようなところをまず確認しないといけないということです。その中で公共交通計画を立てると全体計画の中で、交通不便地域に相当する場所に該当してるとかどうか比較をした上で、本当に地域の中で必要性の高い、或いは改善ルート等を検討しなければいけない地域なのかの見極めができて参ります。下準備としてすごく大事なことだと思いますので、取り組んでいただけだと思います。</p> <p>その他いかがでございましょう。よろしいでしょうか。</p> <p>私が申し上げます。採算率40%が目標で現状は低いですが、数字の見方として、運行経費に対して実際の利用者数で割ると大体1人当たり620円ぐらいの金額になります。これはコミュニティバスとしては極めて優秀です。</p> <p>そういう面では、採算率40%はものすごい高い目標を掲げてるというふうに私個人は思います。</p> <p>公共交通計画の策定に当たって、地域別に南と北では違いもありますし、どういうのが適正であるかというの観点もこれからの事業を進めていく中で判断をしていただいて、計画に組み込む準備をしていただければありがたいなと思います。</p> <p>それでは、この議題4につきましては、報告事項でございますので、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、続きまして、次第5のコミュニティバス南部ルートの検証実験につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>事務局 『次第5について説明』</p> <p>議長（会長） 何かございましたら、ご発言いただければと思います。</p> <p>委員 (質問1) 南部ルート検証実験運行について目標値としてはどんな考え方でスタートしたのでしょうか。</p> <p>(質問2) 実験を始める際に、一般路線も近くを走ってるエリアであることから各社から懸念があったように記憶しておりますが、一般のバス事業とタクシー事業にも影響があったのかヒアリング等されたのでしょうか。</p>
--	--

事務局	<p>(回答1) 目標値があったかについては、南部ルートの運行計画の見直しの参考とさせていただるために運行開始してどこに需要があるかなどを確認するための運行というふうに聞いております。そのため特に目標値などというものを特段定めて開始したと聞いておりません。そのため、ご説明できる数値はない状況になります。</p> <p>(回答2) 一般路線のバス事業者やタクシー事業に影響があったかどうかのヒアリングにつきましては事業者には行っておりません。バス事業者やタクシー事業者から影響がありました旨のお声もいただいておりません。</p>
委員	<p>目標値はなく、南部ルートの見直しの参考にしたいということで了解しました。ただ、評価をする際には目標値がないと人によっては捉え方が違いますので、バス停の位置や本数、また計画に基づく比較をする際には南部ルートへの影響も含めて目標値も示した上で協議をしていくことになりますので、今後は目標値があった方がいいとご指摘させていただきます。また、関係事業者の影響については、ある程度データを取り、バス事業者、タクシー事業者等の影響をヒアリングや連絡等をしていただければと思います。</p>
議長（会長）	<p>市川市は分科会を設置・開催できるわけですので、事業者へのヒアリングを定期的に開催する運用は現段階で可能ですので、ぜひ進めていただきたいと思います。ただ市民の税金でやっていますから公平な使い方がきちんとある方向性に基づいてできているかということを判断しないといけない。先ほどの北東部ルートの総運行経費の1人当たりの金額は620円という話をしました。南部ルート検証実験運行は総運行経費の1人当たりにすると3,725円です。そのような面では採算率だけではなくて、総事業の運行経費を地域別にどう位置づけるかということが非常に大事になって参りますので、方向性も検討していただければと思います。</p> <p>その他にご指摘事項があれば何なりとおっしゃってください。</p>
委員	<p>影響があったかどうかについては行徳地区だけのデータを特別にとつてはおりませんので分からぬのですが、確実にいえるのは10年前と比べると行徳地区で運行するタクシー台数はおよそ半分になっております。確固たるデータはないのですが、売り上げが減ると運転手も稼げる浦安地区や八幡地区、市川地区など稼げる地区へ移ります。タクシー業界も人手不足で運行台数も特にここ4～5年ぐらいで減っている。今、タクシー協会のアプリでやるケースがほとんどになってきましたので、台数は減っているが、売り上げは少し維持できてるというのが現状です。ですので影響があったと確定的にいえることはありませんが、運行台数は間違いなく減っていることだけは言えます。</p>
議長（会長）	<p>情報提供いただきましてありがとうございます。稼働率そのものが、コロナのとき、ガクっと下がり地域別にどう影響しているか。さらに、一般バス路線、或いはコミュニティバスといったバス路線が併用しているところで、どう変化しているか定量</p>

	<p>的にとらえた分析結果はなかなか出でていないものです。ただ、そういった面では交通事業者からもヒアリングしながら全体の計画の中で進めていくといった両方がWi n Wi nになるような仕組みをぜひ使っていただけると良いと思います。</p> <p>その他いかがですか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、こちらについては報告事項でございますので、続きまして、次第の6、こちらの報告事項でございます。</p> <p>バス運転士タクシー乗務員の不足に対する取り組みについて、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	『次第6について説明』
議長（会長）	ただいまのご説明に関しまして何かご質問ご意見等ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。
委員	1回目の就職説明会に来られた方が12名、2回目が27名いて、その参加者のうち説明会参加企業に勤めたのは0名であったとのことです、参加した方、もしくは参加されない方でもこのような合同就職説明会に関する要望はあったのでしょうか。
事務局	ご要望につきましては、参加者の方からは特にございませんでしたが、参加できなかつた方から「ぜひまた開催して欲しい」というお電話でのご要望は数名ございました。
委員	1回目が木曜日の18時～20時、2回目が日曜日の昼間ということで、曜日によって集まりやすかった印象はありましたか。
事務局	1回目については日中もお仕事されている方が参加できる形で夜間の時間帯で開催をさせていただいたところにはなりますが、1回目の人数の2倍近くの方が参加されましたので休日開催の2回目の日曜日の方が参加されやすいというような印象は受けております。
議長（会長）	その他いかがでございましょうか。
委員	タクシー事業者サイドとしてご報告ですけども、採用人数が0人と書いてありますが、千葉県タクシー協会の京葉支部主催としての合同就職説明会は令和6年度に9回開催しております。7月に市川市が就職説明会を行って、京葉支部として9月にハローワーク船橋と共に就職説明会開催しています。実は、タイムラグで入社、採用になるという人たちもそれなりにいます。採用された方に聞いてみると「市川市や京葉支部のハローワークなどいろいろ参加しました」と複数回参加されている方が多いです。市川市での説明会開催後に採用されていないが、数ヶ月経過してか

	<p>ら採用になるというケースもあります。何が言いたいと申しますと決してゼロではなくて、効果はそれなりにあります。</p> <p>求職者いわゆる転職をしようとする人というのは慎重な方が多い傾向があり、1回の説明会で各社の話を聞いてその場で決める方は少ないと思われます。逆に、いろいろな話を聞きながら、その中で自分に合ったところを選んでる方がいらっしゃるということを考えていくと、数値的には0になっていますけれども、必ず効果はあると言うことが事業者の実感としてあります。京葉支部の周知をしている各社からそのような話をよく聞きますので、継続してやっていくということがすごく大事であると思います。引き続き、取り組んでいただければと思います。</p> <p>もう1つ申し上げると、自治会の掲示板が非常に効果があるということを改めて知り得たところでございます。市主催のバス・タクシーの合同説明会もそうですが、ご協力いただけるのであれば、京葉支部主催の説明会も開催しておりますので、ご協力をいただけたらありがたいなと思っております。</p>
委員	<p>補足でお話しさせていただくと、市川市がこのような乗務員の募集説明会を開催していただけだと大変にありがたいことです。やはりタクシー乗務員に新卒でなる方はほとんどおりません。昔はセカンドキャリア、サードキャリアの選択肢にも入っておりませんでしたが、最近は選択肢に入ってきており中高年の方で再就職を考えられる方が入社される業界です。ですので、この説明会続けていただけてご協力いただければなと思いますので、ぜひよろしくお願ひいたします。</p>
議長（会長）	<p>開催したことが良い方向に繋がっているというご説明もございました。市川市単独、もしくは他市と合同でやるなど広域で展開するような形でアプローチは当然できると思います。ぜひ、少し広域のところでも連携するような検討をいただけだと良いと思います。</p> <p>その他、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、次第の7、こちらの協議事項でございます。</p> <p>市川市へのデマンド交通の導入についてということで、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
事務局	《次第7について説明》
議長（会長）	<p>路線バスがあったところが廃止になったので、その代替交通手段として今年の11月から1年間という形で計画をしたデマンドでございます。さらに、11月を待たずして時間が限られておりますが、無料での運行を併用したいといったところでございます。</p> <p>ただいまのご説明に関しまして、ご質問、ご意見等ございましたら承りたいと思います。</p>

委員	この事業を実施することの背景として地元から要望やニーズがあったのか、または市川市から手を差し伸べる形の提案をされたのか教えてください。
事務局	基本的には両方という答えになろうかと思います。今年の3月に路線バスが廃止されるという話がある中で、この地域の公共施設や高齢者施設等や市のウェブページでアンケートを実施し情報収集を進めていき、いろいろな要望等がある中で、至急この地域で何とかしたいということを考えて、市の中で検討して、この計画に至っているというような背景でございます。
委員	11月1日から1年間実証運行されるというところで、1年間行った後に続けるのか、やめるのか、続ける形を変更するのかなど次のステップがあると思います。1年後の進め方の判断をする目標値などがあるのか教えていただければと思います。
事務局	今回は、道路運送法21条の実験運行として行っていく予定ですが、その指標について特段この数字を用いてという考え方はしておりません。千葉県のホームページによりますと、デマンド交通の直近の平均は採算率10%程度となっております。市川市のコミュニティバスの運行指針は採算率40%以上となっておりますが、会長からもお話をございましたが、北東部や南部のそれぞれ地域の特性、人口の差もあることから数値によって判断することは難しい状態であります。 実験の進め方としましては、P D C Aサイクルで検討を進めて参りたいと考え、運行開始までは、検証項目及び指標を定め、改善しながら運行計画を目指していく。検証項目の案として、5段階評価をしてもらうアンケート、運行の実態として、平均乗車人数、稼働率、リピート率、乗降地点の利用頻度など数字的なデータを総合的に検討しながら、自治会等にお話を伺いながらP D C Aサイクルで進めて参りたいと思っております。
委員	今回ターゲットが75歳のゴールドシニアというところですが、市川市民全員が乗車できることになっていますが、そもそも原木線の利用者層は分かりますでしょうか。
事務局	事務局としては情報を把握しておりません。
委員	乗務員として従事している立場からお話をさせていただきますが、ご利用されていたお客様で信鶴地域にある高校の生徒の利用はほとんどありませんでした。唯一、通学で小学校に行く児童が1人2人いるぐらいで、通勤通学の時間帯もご利用人数は少なかったです。 1日トータルしてのご利用人数も少ない状態で、インター付近の渋滞が非常に多いこともあり地元の方で使うのは若い方はほとんどいらっしゃなく、昼間に年配の方が使うような状態の運行状況でした。ですので、トータルして採算性を考えた場合は、非常に低い状態でした。

委員	バス事業者の立場としてはそうだと思いますが、公共交通の観点からいくと高校生は自転車で通学してしまうかもしれません、1人2人の小学生どうするのかというところを今後どういうところでフォローしていくかということも大事かなと思います。
議長（会長）	検証実験として事務局の尺度をもってP D C Aを回す。今回の場合にはおそらく一日借上げ方式の中で運用されると思うのですが、この借上げ方式の場合には、例えば1日、2万5,000円や3万円の金額を事業者に提供する形で移動の支援をきちんとカバーしていただく仕組みです。その場合には稼働率は非常に大事になってきます。朝9時から18時までどの時間帯においても、一定数確保されてないと借上げ方式の場合には、採算率が下がってしまう。それからバス路線であったがゆえに、バス停までの距離があってなかなか活用できなかつた人達など潜在的な利用者を掘り起こしていくことも大事になって参ります。今回9時から18時という形にしていますけども、例えば別の自治体になりますが通学時間帯の移動支援が必要な中学・高校生対象にデマンド交通で7時の便を設置する自治体も実際にございます。地域の要望やニーズをきちんと把握した中で展開をしていくことが重要になります。地域の中で根付く、維持継続できる仕組みとして受け入れられる方向性を模索していくことは非常に大事になって参ります。事務局で継続する方向性を検討していただけるとありがたいと思います。
委員	<p>(質問1) 利用者の登録方法等について不明確な部分があるため具体的に詳しく教えてください。</p> <p>(質問2) 実証運行に係る予算について資料に明記されていないのはなぜなのでしょうか。</p> <p>(質問3) なぜ信篤地域のみで実証運行を行うのでしょうか。</p> <p>(質問4) 区域外の乗降ポイントがあるが、他の事業者への影響はあるのでしょうか。</p> <p>(質問5) ジャパンタクシーという車両を使用するが、同じ形の車両が街中を走っており市民が混乱しないような工夫が必要だと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>(回答1) 利用者登録につきましては、一般にタクシー予約をする際の内容である住所・氏名・電話番号・配慮事項等を運行事業者に聞き取りしていただき、予約の際に利用する登録した情報と乗降ポイントを伺ってもらう予定としておりますが現在調整中であり契約に至っていないため資料に記載しておりません。</p> <p>(回答2) 予算につきましては、令和7年度当初予算はついておらず6月議会で補</p>

	<p>正予算を計上する予定で準備をしており予算が確定していないことから資料へ記載をしておりません。</p> <p>(回答3) 市川の歴史の中で初の大規模な路線バス廃線により、移動不便地域が広く発生してしまった。そこに住んでいる約3万人の市民、75歳以上であれば約3千人の市民の方が4月から困るという大規模な事態が生じたため市川市として喫緊の課題と捉え、移動が円滑にできるよう移動手段を確保するために実証運行をしたいと考えております。その信篤地域をモデル地域として実証運行を行い、検証を繰り返しながら他の交通不便地域が生じている場所について今後どのような対策をしていければよいか考えていきたいと思っております。</p> <p>(回答4) 区域外乗降ポイントにつきましては廃線された路線バスのバス停を含め、地域住民アンケートでご要望があった場所を区域外乗降ポイントとしておりますが、影響などを含めて協議会に入られていない船橋市様や船橋警察署様などもおられますので関係者様と情報共有し説明し、ご理解・ご納得いただいて調整を進めていきたいと考えております。</p> <p>(回答5) 予算の兼ね合いもありますが、周知用のパンフレット作成や説明会開催などで周知活動を進めていく予定です。</p>
委員	<p>予算について分かりました。また、乗降ポイントについては市川市の地域を超える部分があることから、その地域の自治体の公共交通会議等がありますのでそういう部分の調整も必要になってくると思われます。</p> <p>利用者登録について理解しましたが、県内的人口5万人の都市で同じようなデマンド型乗り合いタクシーを行った事例がありましたが、そこはニーズが多く、非常にたくさん申し込みを受けて、結果的に市だけでは対応できなく、事業者へ協力していただき委託でやっている事例もございます。</p> <p>今の時点では目標値などはなく、利用者の把握もできていないので、使用するタクシーは2台とのことで本当に足りるかの検証が出てくる可能性もあります。また、重大事故が発生した場合の責任は、タクシー業者だけではなくて、この協議会も責任負う内容もあります。やるからには、十分に皆様にもお話しして、安全安心な乗り物という形を実験段階からやっていただくようにお願いしたいと思います。</p>
議長（会長）	<p>その他いかがでございましょうか。</p> <p>まだ予算化されていない、事業者確定ではない、それから運用方式に関しましても、電話応対は決まっていますが、具体的にその利用者の実態が見えない中でどのような日々の運行になるのか。委員に意識共有が図れないところがございますので、7月の協議会の段階で確認をさせていただくことになろうかと思います。7月には正式な申請案件として委員の皆さんに協議をさせていただくよう準備を進めていただきたいと思います。次の協議のための今回の説明という位置付けでございますが、</p>

	よろしいでしょうか。
委員	よろしい。
議長（会長）	それでは7月の協議会に向けて時間がないところでございますが各種調整を含めてよろしくお願ひいたします。
委員	定期循環運行ルートが無償で行われる説明がありまして、このルートは既存の一般路線との影響は出るのでしょうか。
事務局	基本的には既存の路線バスが廃線されたところですので、影響は考えておりませんが、近隣の地域で運行している路線バスもありますので、関係者にお話を伺いながら進めて参りたいと思います。
議長（会長）	その他、よろしいでしょうか。
委員代理	原木線の廃線に関しましては、ご迷惑をおかけした立場ではありますけれども、実証運行や定時循環運行ルートの事業者とのご相談、協議に関しまして、計画図の中に、一般路線バスの路線図や停留所の位置を併せてお示しいただきますと、我々バス事業者だけではなくて、委員の皆様にも、どのような影響があるのかというが可視化できるかと思いますので、ぜひご検討をお願いできればと思います。
議長（会長）	次のステップに繋げるという意味で今から準備していただけるとありがたいなと思います。 その他、よろしいでしょうか。 それでは次回の申請に向けてよろしくお願ひいたします。 それでは続きまして、「その他」ということでございますが、何か出席の委員の皆様方から情報提供等ございますか。よろしいでしょうか。 それでは私がお預かりしました協議案件等含めて以上でございます。 進行を事務局に戻したいと思います。どうもありがとうございました。
事務局	議事進行ありがとうございました。 皆様、本日は誠にありがとうございました。これをもちまして、令和7年度第1回市川市公共交通協議会を終了いたします。お疲れ様でした。 以上